

JAL 被解雇者労働組合 (JAL 争議団)

info@jhu-wing.main.jp
<https://jhu-wing.main.jp/>

関東キャラバン報告：その6 **キャラバン9日目 (最終日)**

6月10日 最終地 **JAL 本社** **もっと拡げよう！ 闘いの輪！**

5月27日スタートしたキャラバンの最終地、JAL 本社に150名が結集しました。130名の研究者による「JAL 争議の早期解決を求める研究者の声明」が、国交省に続いて本社にも提出されました。結集した150名は、全面解決に向けて闘いの輪を更に拡げることを確認しました。



～主催者挨拶～

関東キャラバン実行委員会 宮垣さん

本社に声明を提出する大重教授と要請団



JAL は、経営破綻と公的再生支援を利用して、更生計画にもなく金融機関からも要請されていなかった165名の整理解雇を組合つぶしのために強行した。右手で労働者の首を切って左手で濡れ手にアワの大儲けをしたわけで、断じて許せません。争議の早期全面解決のために頑張りましょう。

～連帯挨拶～

国労高崎地本
倉林委員長



モノ言う労働者を排除する敵の根っこは一つ。首を切られた怒りと交渉と大衆行動で敵を追い詰めていく事が解雇争議の基本。敵を明らかにしながら情勢を意思統一し、敵よりも一日でも長く闘い貫こう。

茨城労連
岡野事務局長



6日つくば駅での宣伝行動に労働組合・民主団体30名が参加した。その後自治労連で争議の状況の説明を受けた。航空会社の社員は専門職だから、会社に意見を言う。だから組合員を解雇し、人手不足で新たに社員を雇いながら被解雇者を採用しない。労働組合として許せない。最後まで闘う。

全国一般東京労組
野中書記次長



法的整理を利用した整理解雇は闘う労働組合、労働者を職場から排除することを目的とした行為であり、東京労組は断固として抗議する。最後まで、皆さんとともに闘っていききたい。

郵政労働者ユニオン
石川さん



首切り、差別は決して許されない。ベテラン社員の首を切ったJALの蛮行に対して怒りを持つ。真摯に話し合いに応じて解決すべき。必死になって闘っている仲間の思いを受け止め、勝利するまで闘っていく。

どんなに儲かっても解雇者を戻さない信念は、破綻を奇貨として闘う労働者を追い出そうと決めていたから。2018年の株主総会で解決したいと言って4年も経つ。それを邪魔しているのは誰か。社長、会長が解決すると言ったらすぐに解決するもの。それが経営者の責任。この株主総会で早く解決するよう要請する。そうでなければ経営者は辞任すべき。

全労協退職者ユニオン

柚木さん



JALはグローバル企業を代表する企業で、学生達にとっても人気のある業種である。世界的な趨勢である人権重視について、積極的に取り組む必要がある。人権に対して守るだけでなく、世界を先取りするような取り組みが求められている。12年間ずっと闘う気持を続けてこられたことに心から敬意を表したい。貢献できないといって解雇された時の悔しさが、闘う気持の土台になっている。学生達にも知らせることによって微力ながらお役に立ちたい。

獨協大学

大重教授



団交で165名だけ特別扱いはできないと発言。会社は一度もまともな解決案を示していない。解決する意思がないのか。解決する能力がないのか。皆が納得できる解決を21日の株主総会で提案すべき。プライドを持って安全や信頼を勝ち取ってきた165名を、私たちの力であの空に戻そうではないか。

京浜ユニオン

伊藤さん



赤字は経営陣が作ったもの。経営陣は責任を取らず、労働組合の活動家を中心に解雇して責任を転嫁した。かつて未払い残業代で破産管財人と交渉し全額を支払わせた。まともな経営の責任の取り方である。即刻解雇したベテランを戻して黒い翼でなく、明るい翼で飛んで頂きたい。

JAL 争議支援三多摩

地区共闘

会議

河田議長



かながわ連絡会

澤田さん



破綻当時、JALの経営破綻に関わった銀行、支援機構、会社の皆さんも誰一人整理解雇が必要であると言っていなかった。強行した上、6000名からの採用をしていることにこそ、解雇の本質がある。JALのブランドを支えてきたのは社員。誰一人としてブランドを傷つける人はいなかった。経営は自分たちの犠牲を避け、支えてきた労働者を犠牲にした。この誤りを認めて株主総会では全面解決を図る姿勢をみせてほしい。私たちは全力を尽し闘いの輪をどんどん拡げていきたい。

～組合員からの訴え～

加藤書記次長



山口委員長

私が1972年に入社してから731人が事故の犠牲になっている。これでモノを言わない人がいますか。赤坂社長は1987年4月入社ですから、事故が起こった時、社員がどんな気持ちになるか分っていない。解決すると言ってから4年間もほったらかしている企業がどこにあるのか。社長の資質が問われる。

一体いつになったら解決する気になるのか。人の人生を、気持ちをもて遊ぶのはいい加減にしてほしい。社員が寝ないで稼いだ利益を垂れ流して、なぜ責任を取るべき者が会社に残り、安全性とサービスを必死に守ってきた労働者が首になるのか。12年経った今でも分からない。JALは解雇争議を早期に全面解決せよ！

